

平成 27 年 12 月 18 日
総務省北海道管区行政評価局

「北海道内におけるジェネリック医薬品の 普及促進に関する調査」の実施

総務省北海道管区行政評価局では、地域住民の生活に密着した行政上の問題について、行政運営の改善を図るための調査（地域計画調査）を自ら企画、実施しています。

今回、患者の医療費負担の軽減及び医療保険財政の収支の改善に寄与する観点から、北海道内におけるジェネリック医薬品の普及状況等を調査し、その現状と課題を明らかにするため、別紙のとおり、「北海道内におけるジェネリック医薬品の普及促進に関する調査」を実施することになりましたので、公表します。

【本件に関する照会先】

総務省北海道管区行政評価局

第一部第三評価監視官 神尾 謙二

電 話：011-709-2311（内線 3137）

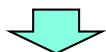
ファクス：011-709-1843

Eメール：hkd13@soumu.go.jp

北海道内におけるジェネリック医薬品の普及促進に関する調査

調査の背景等

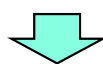
○ ジェネリック医薬品は先発医薬品に比べ薬価が安く、その普及は患者負担の軽減、医療保険財政の改善に寄与するもの



○ 政府は、ジェネリック医薬品の数量シェア目標を平成29年中に70%、30年度から32年度末までの間に80%以上とする目標を設定(注1)

(注1) 経済財政運営と改革の基本方針2015(平成27年6月30日閣議決定)

○ 厚生労働省の公表資料(注2)によると、北海道のジェネリック医薬品の数量シェアについては、平成27年3月現在59.5%であり、全国平均58.4%を上回る状況



○ しかしながら、北海道内には、以下のような状況がみられる。

- ・ 市町村別の内訳(注3)をみると、最高75.4%から最低42.0%と市町村により大きく異なる状況
- ・ 当局の行政相談においても、道内の住民からジェネリック医薬品を使用できずに困っているとの相談が寄せられている。

(注2) 調剤医療費(電算処理分)の動向～平成26年度版～(平成27年9月3日)

(注3) 道内の調査対象は、平成27年3月に保険請求のあった薬局が所在している148市町村となっており、そのうち、薬局が4軒以上所在している63市町村(42.6%)の数値が公表されている(薬局が3軒以下の85市町村(57.4%)の数値は非公表)。

○ この調査は、患者の医療費負担の軽減及び医療保険財政の収支の改善に寄与する観点から、道内のジェネリック医薬品の普及状況、北海道厚生局における医療機関等に対する指導状況等について調査し、関係行政の改善に資するために実施するもの

主な調査項目

- 1 北海道内の市町村等におけるジェネリック医薬品の普及状況
- 2 北海道厚生局における保険医療機関等に対する指導状況
- 3 生活保護受給者等におけるジェネリック医薬品の使用状況
- 4 保険薬局におけるジェネリック医薬品の取扱い状況 等

調査対象機関

北海道厚生局

調査実施期間

平成27年12月～28年3月(予定)

関連調査等対象機関

北海道、市町村、保険医療機関、保険薬局、関係団体等

(参考)

○ 経済財政運営と改革の基本方針 2015（平成 27 年 6 月 30 日閣議決定）＜抜粋＞

（薬価・調剤等の診療報酬及び医薬品等に係る改革）

後発医薬品に係る数量シェアの目標値については、2017 年（平成 29 年）中に 70%以上とするとともに、2018 年度（平成 30 年度）から 2020 年度（平成 32 年度）末までの間のなるべく早い時期に 80%以上とする。2017 年中央において、その時点の進捗評価を踏まえて、80%以上の目標の達成時期を具体的に決定する。

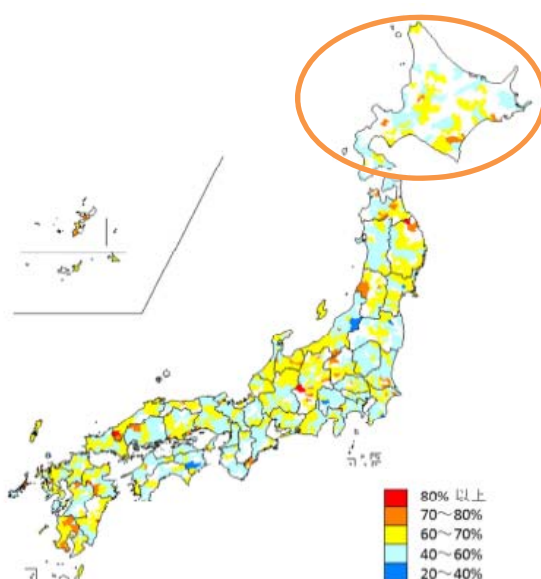
○ ジェネリック医薬品の数量シェア(平成 27 年 3 月現在)

○ 全国の保険者等別ジェネリック医薬品の数量シェア

(単位：%)

	実数 数量ベース	総数										公費
		医療保険 適用計							国民健康 保険計		後期 高齢 者	
		被用者 保険計	協会 一般			共済 組合	健保 組合	市町村 国保	国保 組合			
実数	数量ベース		58.4	58.1	60.0					60.3	59.0	59.8
対前 年差	数量ベース	7.2	7.1	6.9	7.1	7.2	6.7	7.2	7.2	6.5	7.2	8.4

○ 保険請求のあった薬局が 4 軒以上存在する全国の市町村におけるジェネリック医薬品の数量シェア



※ 空白（白抜き）は、保険請求のあった薬局が 3 軒未満の公表対象外の市町村

○ 北海道内のジェネリック医薬品の数量シェアの上位 3 市町村

No.	市町村名	数量シェア (%)
1	赤平市	75.4
2	砂川市	72.8
3	釧路町	71.8

○ 北海道内のジェネリック医薬品の数量シェアの低位 3 市町村

No.	市町村名	数量シェア (%)
1	根室市	42.0
2	八雲町	42.1
3	別海町	43.2

※ 調剤医療費（電算処理分）の動向～平成 26 年度版～（平成 27 年 9 月 3 日厚生労働省公表）による。